

環境問題の「目利き力」を 育てる「ECO SCORE 検定」

——「ECO SCORE 検定」はどんな
検定ですか

社会生活や企業活動でエコを実践できる人材を育成するために、早稲田環境研究所が開発し、一般財団法人スマートソサエティ推進機構が実施しています。

専門的な知識にはあまり立ち入らず、文系の営業マンでも、「これだけ知っていれば顧客先に環境問題を語る事ができる」というポイントを学んでもらうことを目標としています。また今後、各分野で専門知識を身に付けたい人が、環境問題全般について最低限必要な知識を学ぶうえでも役立ちます。

知識の刷り込みだけでなく、実学として使える環境問題の「目利き力」を育てることが、当検定の大きな特徴。たとえば金融機関などの営業マンが商談の中で、「この建物は古いタイプの蛍光灯が残っていますね。これらを更新すればコスト削減になります」という、ちょっとした省エネ提案ができるようになることを目指しています。



「ECO SCORE 検定」の認定証

—— 出題範囲は

主に企業や行政などの環境・エネルギー対策に関する5分野である①エネルギーマネジメント／一般②エネルギーマネジメント／事業③スマートコミュニティ／再生可能エネルギー④循環型社会⑤CSR(企業の社会的責任)一です。受験者のエコ関連知識レベルを1000点満点で表示し「ECO SCORE 認定証」を発行します。「今回はこの分野が弱かったから、もう一度勉強しよう」というように、継続して受験していただくことを念頭に置いています。

官公庁および企業の環境関連部署、CSR関連部署、エコ関連の商材を扱うメーカーや販売店はもちろん、一昨年の4月に施行された「改正省エネ法」への対応が必要になる企業も含め、環境問題の「目利き力」を持つ人材の育成は急務。当検定をカスタマイズして、企業研修などのメニューに盛り込んでいただくことも可能です。

—— 検定を開発した背景は

環境問題は幅が広く、さまざまな分野が複雑に絡み合っていて、簡単にひとくくりにはできません。そのため各分野をある程度網羅する横断的な知識を持たないと、バランス感覚を欠く恐れがあります。

たとえば廃棄物処理の背景にある、埋め立て処分場の問題などの複雑な問題を理解したうえで、二酸化炭素(CO₂)排出量削減についての議論を行うのはいいでしょう。ところが「環境問題=地球温暖化」という図式だけでゴミ問題を論じると、エネルギーを



早稲田環境研究所の小野田弘士取締役会長

消費して焼却処理をするよりも、埋め立て処分するほうがCO₂排出量が少なく済むという結論になります。

また、よく見られるのが電力(kW／ある時点で使っている電気の量)と電力量(kWh／消費した電気の量)との混同。たとえばピーク時の節電効果を「kWh」で検討するのは誤りで、「kW」単位の数値で議論しなければなりません。逆に、トータルな電力消費量をいかに抑えるかという省エネ効果は「kWh」ベースで検討すべきです。

このように、環境問題について最低限知っておくべき事柄を、学べる場がなかなかないということが、「ECO SCORE 検定」を開発した最大の理由です。

—— 検定のスケジュールと今後の展開を教えてください

7月27日に第1回、9月27日に第2回の検定を行いました。第3回は11月29日に実施します。申込期限や試験場所などの詳細についてはホームページ(<http://e-wei.co.jp/>)をご覧ください。今後は各出題分野について、プロフェッショナルを目指す人たちが、さらに学べる講座を設けていく予定です。E

(株) 早稲田環境研究所
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-20
ECORICH 高田馬場8階
TEL: 03-5272-6236 FAX: 03-6233-9205
URL: <http://e-wei.co.jp>

地球環境とエネルギー

持続可能(サステナブル)な社会のあり方を提言するエネルギー・環境誌

原発の現在

水と共生に 吉村 和就・国連環境アドバイザー

松本真由美の環境・エネルギーDiary

わが社の環境経営 ダイキン工業

2012

10

October

編集長が聞く!

CO₂排出削減に貢献する事業を推進

植林で世界初のクレジットを取得

住友化学 塩沢文朗 理事・気候変動対応推進室部長

特集

改めて問う!

原発とどう向き合う